

第4号様式(第10条関係)

第2回会議録(案)

会 議 名	平成23年度第2回武蔵村山市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成23年8月30日(火) 午後2時～3時55分
開 催 場 所	市役所4階401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：藤井会長、川島副会長、国田委員、原島委員、宮田委員、木村委員、進藤委員、池田氏(小矢島委員の代理)、若田氏(村上委員の代理)、甲斐委員、関根委員、江郷委員、若林委員、藤本氏(鶴澤委員の代理)、山崎委員 欠席者：西田委員、吉永委員 事務局：都市整備部長、都市計画課(課長、主査、主任)
議 題	1 市内バス交通に関する現況整理について 2 市内バス交通に対する意向の把握について 3 バス交通を取り巻く課題の整理について 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について 基本的には問題ないが、今後、必要に応じて追加・修正を加える。 議題2について 特になし。 議題3について 今後の方向性等の検討については、本日の資料に必要なに応じて分析を加えながら検討していく。 議題4について 次回の開催日については9月30日(金)とする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ◎：会長 ○：副会長 委員 ●：事務局	議題1 市内バス交通に関する現況整理について ● 資料2-1、2-2に基づき説明。〈説明省略〉 【主な意見、質疑等】 ○ パーソントリップ調査で市内を3区分にゾーン分けしているが、現状の実感と合わないので修正できないか。 ◎ 過去からこのゾーンで区分されているものであり、ゾーンを変えることは出来ないものである。 ○ パーソントリップ調査のトリップ数の単位は。 ● 平成20年のある一日のトリップ数である。 ○ 道路の混雑度の数字の見方は。 ● 交通容量に対する交通量の比を表しており、1.0を超えるほど混雑が激しくなることを表している。例えば1.5という数字であれば、日中は概ね混んでいるイメージと捉えていただきたい。 ○ 横田基地の北側の人口密度が高いが実感と異なるように感じる。 ● 中原グリーンタウンの西側辺りは、公団が大規模な戸建て住宅を分譲したエリアであり、かなり人口が多くなっている。 議題2 市内バス交通に対する意向の把握について ● 資料2-3、2-4に基づき説明。〈説明省略〉

【主な意見、質疑等】

(特に意見、質疑等無し)

議題3 バス交通を取り巻く課題の整理について

- 資料2-5に基づき説明。〈説明省略〉

【主な意見、質疑等】

- なぜ、今まで残堀から西武立川にアクセスするバス路線が出来なかったのか。
- 西武立川駅は今年になって駅前ロータリーが出来たところであり、これまでバスの乗り入れが出来なかった。また西武立川駅の駅入口バス停や昭島駅に行く立川バスの路線バスがあり、それとの競合を避けている。
- 資料2-5の課題整理の資料については、市とコンサルタントのどちらが作成したのか。
- 委託先のコンサルタントが作成したが、作成に当たっては市と意見交換をしながら行っており、今後も課題を追加していきながらまとめていきたい。
- 利用者を増やすためには、市外から人を呼び込むことが考えられるが、そのような観光的な考えは今回の検討内容に含まれるのか。
- 事務局としても同感でありルートやダイヤの変更だけでは、利用者を増やすことはなかなか難しい。かたくりの湯など利用者が多い観光スポット的なところを組み込んでルート変更等を検討していきたい。
- 武蔵砂川ルートは、市外に出たところのバス停が少ないと思う。その辺りも改善してはどうか。
- 市内循環バスは市の施策であり、他市のエリアで他市の利用者に乗せることは難しい側面もある。ただ、他市との共同運行も考えるべきとの意見はあり、この会議の中でも同様の意見が多ければ、そのような提言をしていくことは問題ないとする。
- 立川市だけではなく東大和市も含めて考えるべきである。両市の住民も便利になり、バス会社も儲かることなので積極的に検討すべきではないか。
- ◎ 共同運行に際しては、運賃や費用負担の問題（路線長か利用者数のどちらで区分するか）、他市へ路線を長くすることによって運行本数の増便ができなくなってしまうといった様々な課題がある。他市を運行する目的や他市の住民は本市のどこに行きたいのかといったことを検討する必要がある。検討するに当たっては、既存の路線バスと重複するか否かもチェックしなくてはならない。
- ◎ 市内循環バスの特性として、通勤目的で鉄軌道駅までバスを利用している市民が多いが、本来であれば、このような需要に対してはバス事業者が対応するのが一般的である。逆に通常の市内循環バスは公共施設等のアクセス性を確保するのが大きな役割である。従って、アンケート調査で通勤や通院等の目的別に見た時の

	<p>利用特性を調べる必要がある。</p> <p>○資料２－３で通勤が３４％を占めているにも係わらず、利用時間が早朝～８時までで４２％を占めている。帰宅のことを考えると夕方の利用割合がもっと多いはずだが、利用者が増えないのはここに理由があるのではないか。朝は利用しやすい時間にバスが来るが夜は利用しやすい時間にバスが無いと考えられ、本数を増やすよりも利用しやすい時間帯にバスを用意するといったことが通勤需要を取り込むには重要ではないか。一方、通勤はターゲットとせず既存バスが走行していないエリアを対象とするのであれば、等間隔ダイヤなど分かりやすくすることも重要と考えられる。</p> <p>●乗車時間帯については、アンケート配布に際して朝に受け取った人は帰りでは受け取らなくても良いこととしたので、このように朝に集中した結果となっていると考えられる。客観的に見るデータとしてはODデータを活用してどのような時間帯に利用が多いかを分析する。</p> <p>◎今回は課題整理まで検討したが、今後は方向性を検討することになる。まずは本日の資料をベースとして方向性を検討していきながら、その都度、必要に応じて分析を加えながら進めることとしたい。</p> <p>議題４ その他</p> <p>● 次回の日程については、９月３０日（金）午後２時からを予定している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： 4 人</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>都市整備部 都市計画課（内線：２７３）</p>
--------------	----------------------------